

# 福生市高齢者生活実態調査報告書

## 概要版

令和8年2月  
福 生 市

## 1 調査の目的

令和8年度に予定している「福生市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第10期)」を策定にするにあたり、計画の基礎資料として活用するため、ご意見・ご要望などをお伺いするアンケートを実施しました。

## 2 調査の対象

調査名	調査対象	調査方法
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	要支援・要介護の認定を受けていない 65歳以上の方	2,000人 (無作為抽出)
	要支援1または要支援2の認定を受けた方	500人 (無作為抽出)
在宅介護実態調査	要介護1～5の認定を受けた在宅の方	1,300人 (無作為抽出)

## 3 調査基準日

令和7年10月1日

## 4 調査期間

令和7年11月10日～12月1日

## 5 調査方法

郵送配布、Web回答

## 6 回収状況

調査名	配布数	有効回収数	有効回収率	郵送回答数(%)	Web回答数(%)
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	2,500	1,727	69.1%	1,535 (88.9%)	192 (11.1%)
在宅介護実態調査	1,300	741	57.0%	643 (86.8%)	98 (13.2%)
合計	3,800	2,468	64.9%	2,178 (88.3%)	290 (11.7%)

# 1 調査結果:介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1)複数の生活課題を抱える人では、介護を必要とする割合や、健康状態が良好でないと感じる割合が高くなっています。

- ・関係する複数の設問から、「運動機能」「口腔機能」「低栄養」「認知機能」にそれぞれ低下がみられる場合を課題ありとし、4つの課題のうち、3つに該当する人では介護を受けている割合が37.0%、全てに該当する人では57.1%となっています。

## ■課題の有無／介護・介助の必要性

		回答者数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	人数	1,727	1,343	171	173	40
	構成比		77.8%	9.9%	10.0%	2.3%
該当なし	人数	748	684	31	21	12
	構成比		91.4%	4.1%	2.8%	1.6%
1つ該当	人数	550	426	53	58	13
	構成比		77.5%	9.6%	10.5%	2.4%
2つ該当	人数	314	195	58	50	11
	構成比		62.1%	18.5%	15.9%	3.5%
3つ該当	人数	108	37	27	40	4
	構成比		34.3%	25.0%	37.0%	3.7%
全て該当	人数	7	1	2	4	0
	構成比		14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

- ・これらの課題に3つ該当する人のうち、健康状態について「あまりよくない」「よくない」と回答した割合は合計73.1%、全てに該当する人では合計85.7%となっています。

## ■課題の有無／健康状態

		回答者数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	人数	1,727	156	1,088	376	70	37
	構成比		9.0%	63.0%	21.8%	4.1%	2.1%
該当なし	人数	748	121	532	73	7	15
	構成比		16.2%	71.1%	9.8%	0.9%	2.0%
1つ該当	人数	550	28	361	133	15	13
	構成比		5.1%	65.6%	24.2%	2.7%	2.4%
2つ該当	人数	314	7	169	114	19	5
	構成比		2.2%	53.8%	36.3%	6.1%	1.6%
3つ該当	人数	108	0	25	52	27	4
	構成比		0.0%	23.1%	48.1%	25.0%	3.7%
全て該当	人数	7	0	1	4	2	0
	構成比		0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(2)加齢や、運動機能の制約により、転倒への不安が高まり、外出頻度の減少につながっていると考えられます。

・階段昇降が「できない」と回答した人の割合は、90歳以上の人で63.1%、要支援2の人で66.3%と高く、年齢や介護度による差が大きくなっています。

### ■階段昇降／年齢別

		回答者数	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体	人数	1,727	959	366	361	41
	構成比		55.5%	21.2%	20.9%	2.4%
65～69歳	人数	351	263	51	30	7
	構成比		74.9%	14.5%	8.5%	2.0%
70～74歳	人数	358	240	69	43	6
	構成比		67.0%	19.3%	12.0%	1.7%
75～79歳	人数	377	225	87	58	7
	構成比		59.7%	23.1%	15.4%	1.9%
80～84歳	人数	324	144	75	91	14
	構成比		44.4%	23.1%	28.1%	4.3%
85～89歳	人数	205	58	51	90	6
	構成比		28.3%	24.9%	43.9%	2.9%
90歳以上	人数	65	8	15	41	1
	構成比		12.3%	23.1%	63.1%	1.5%
無回答	人数	47	21	18	8	0
	構成比		44.7%	38.3%	17.0%	0.0%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

・転倒に対する不安については、「とても不安である」と回答した人の割合は、90歳以上の人で49.2%、要支援2の人で54.1%となっています。

### ■転倒に対する不安／年齢別

		回答者数	とても不安 である	やや不安 である	あまり不安 でない	不安でない	無回答
全体	人数	1,727	327	669	427	262	42
	構成比		18.9%	38.7%	24.7%	15.2%	2.4%
65～69歳	人数	351	34	122	103	86	6
	構成比		9.7%	34.8%	29.3%	24.5%	1.7%
70～74歳	人数	358	54	149	91	59	5
	構成比		15.1%	41.6%	25.4%	16.5%	1.4%
75～79歳	人数	377	55	144	108	62	8
	構成比		14.6%	38.2%	28.6%	16.4%	2.1%
80～84歳	人数	324	74	133	71	35	11
	構成比		22.8%	41.0%	21.9%	10.8%	3.4%
85～89歳	人数	205	71	81	35	10	8
	構成比		34.6%	39.5%	17.1%	4.9%	3.9%
90歳以上	人数	65	32	21	7	1	4
	構成比		49.2%	32.3%	10.8%	1.5%	6.2%
無回答	人数	47	7	19	12	9	0
	構成比		14.9%	40.4%	25.5%	19.1%	0.0%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

・外出回数の変化については、「昨年より減っている」と回答した割合は90歳以上の人で50.8%、要支援1で46.2%、要支援2で45.4%となっています。

### ■外出頻度の変化／年齢別

		回答者数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体	人数	1,727	91	441	533	625	37
	構成比		5.3%	25.5%	30.9%	36.2%	2.1%
65～69歳	人数	351	13	44	106	182	6
	構成比		3.7%	12.5%	30.2%	51.9%	1.7%
70～74歳	人数	358	10	79	106	158	5
	構成比		2.8%	22.1%	29.6%	44.1%	1.4%
75～79歳	人数	377	16	88	126	137	10
	構成比		4.2%	23.3%	33.4%	36.3%	2.7%
80～84歳	人数	324	18	110	104	84	8
	構成比		5.6%	34.0%	32.1%	25.9%	2.5%
85～89歳	人数	205	24	72	68	35	6
	構成比		11.7%	35.1%	33.2%	17.1%	2.9%
90歳以上	人数	65	7	33	8	15	2
	構成比		10.8%	50.8%	12.3%	23.1%	3.1%
無回答	人数	47	3	15	15	14	0
	構成比		6.4%	31.9%	31.9%	29.8%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

### ■外出頻度の変化／介護度別

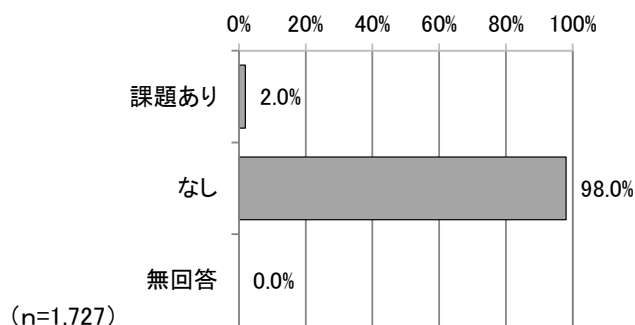
		回答者数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体	人数	1,727	91	441	533	625	37
	構成比		5.3%	25.5%	30.9%	36.2%	2.1%
自立	人数	1,343	36	272	446	564	25
	構成比		2.7%	20.3%	33.2%	42.0%	1.9%
要支援1	人数	132	16	61	36	19	0
	構成比		12.1%	46.2%	27.3%	14.4%	0.0%
要支援2	人数	205	36	93	36	28	12
	構成比		17.6%	45.4%	17.6%	13.7%	5.9%
無回答	人数	47	3	15	15	14	0
	構成比		6.4%	31.9%	31.9%	29.8%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(3) 栄養状態はおおむね良好である一方、口腔・嚥下機能の低下により、将来的なリスクを抱えている可能性がある人もいます。

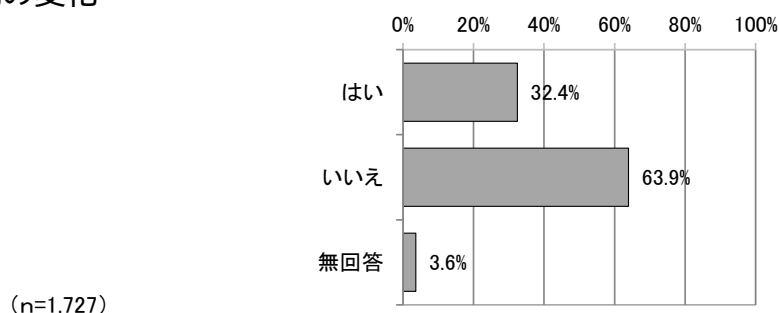
・低栄養状態については「課題あり」に該当する人が2.0%にとどまっており、BMIも「普通体重」が64.8%と、全体としては良好な状況にあるといえます。

### ■低栄養状態



・一方、「固いものが食べにくくなった」と回答した人は32.4%となっています。

### ■嚥下機能の変化



・「お茶や汁物等でむせることがある」と回答した人は31.6%、要支援2の人では、49.8%と高い割合となっています。

### ■お茶や汁物等でむせることの有無／介護度別

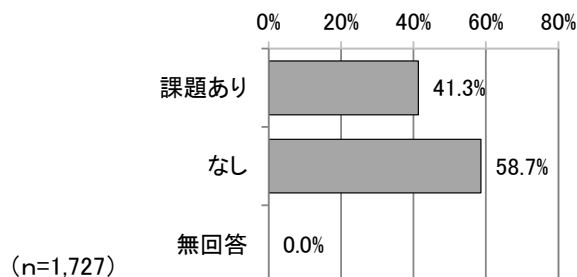
		回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	人数	1,727	545	1,139	43
	構成比		31.6%	66.0%	2.5%
自立	人数	1,343	379	931	33
	構成比		28.2%	69.3%	2.5%
要支援1	人数	132	53	78	1
	構成比		40.2%	59.1%	0.8%
要支援2	人数	205	102	96	7
	構成比		49.8%	46.8%	3.4%
無回答	人数	47	11	34	2
	構成比		23.4%	72.3%	4.3%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

(4)高年齢層や要支援者では、認知機能低下が比較的高い割合で見られます。

- ・認知機能の低下については、「課題あり」に該当する人が41.3%となっています。
- ・年齢が高くなるほど認知機能低下を自覚する人は増加しており、85～89歳では「物忘れが多いと感じている」と回答した人が57.6%となっています。

■認知機能の低下



■物忘れに関する自覚／年齢別

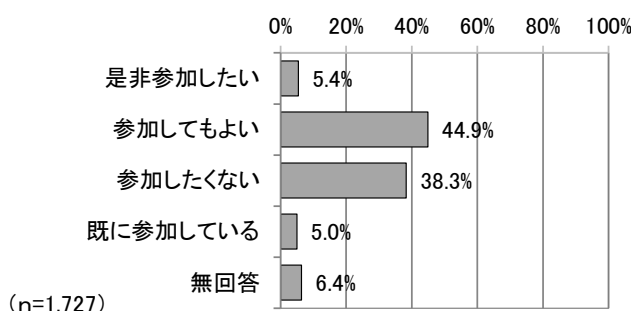
		回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	人数	1,727	714	963	50
	構成比		41.3%	55.8%	2.9%
65～69歳	人数	351	120	224	7
	構成比		34.2%	63.8%	2.0%
70～74歳	人数	358	138	214	6
	構成比		38.5%	59.8%	1.7%
75～79歳	人数	377	144	221	12
	構成比		38.2%	58.6%	3.2%
80～84歳	人数	324	143	166	15
	構成比		44.1%	51.2%	4.6%
85～89歳	人数	205	118	80	7
	構成比		57.6%	39.0%	3.4%
90歳以上	人数	65	31	32	2
	構成比		47.7%	49.2%	3.1%
無回答	人数	47	20	26	1
	構成比		42.6%	55.3%	2.1%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(5)地域活動への参加割合は一定程度にとどまる一方で、参加意欲がある人も一定数います。

- ・ボランティア、趣味活動、介護予防教室などの地域活動では、「参加していない」がいずれも約5割から6割となっています。
- ・一方、住民主体の健康づくりや趣味活動について、「参加してもよい」と回答した人が44.9%となっています。

■地域活動への参加意向



- ・年数回以上、いずれかの活動に参加している人では、運動機能や口腔機能に「課題あり」の割合は、参加していない人と比べて低い傾向がみられ、地域活動への参加とフレイル予防との関連があると考えられます。

■運動機能の低下／グループ活動や社会活動への参加

		回答者数	課題あり	なし	無回答
全体	人数	1,727	316	1,411	0
	構成比		18.3%	81.7%	0.0%
年数回以上活動	人数	1,026	113	913	0
	構成比		11.0%	89.0%	0.0%
参加していない	人数	522	153	369	0
	構成比		29.3%	70.7%	0.0%
無回答	人数	179	50	129	0
	構成比		27.9%	72.1%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

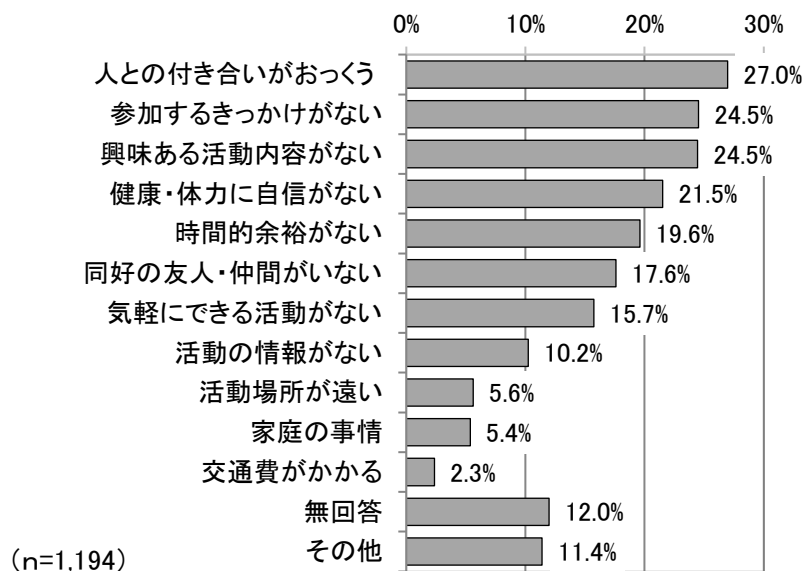
■口腔機能の低下／グループ活動や社会活動への参加

		回答者数	課題あり	なし	無回答
全体	人数	1,727	466	1,261	0
	構成比		27.0%	73.0%	0.0%
年数回以上活動	人数	1,026	226	800	0
	構成比		22.0%	78.0%	0.0%
参加していない	人数	522	165	357	0
	構成比		31.6%	68.4%	0.0%
無回答	人数	179	75	104	0
	構成比		41.9%	58.1%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

・参加していない理由としては、「人との付き合いがおっくう」(27.0%)、「参加するきっかけがない」(24.5%)が上位となって活動内容への関心の有無だけでなく、参加にあたっての心理的なハードルが影響しているといえます。

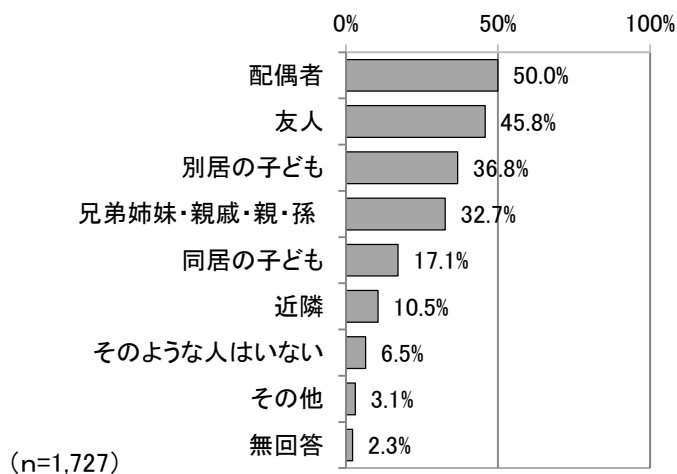
### ■グループ活動や社会活動に参加していない理由



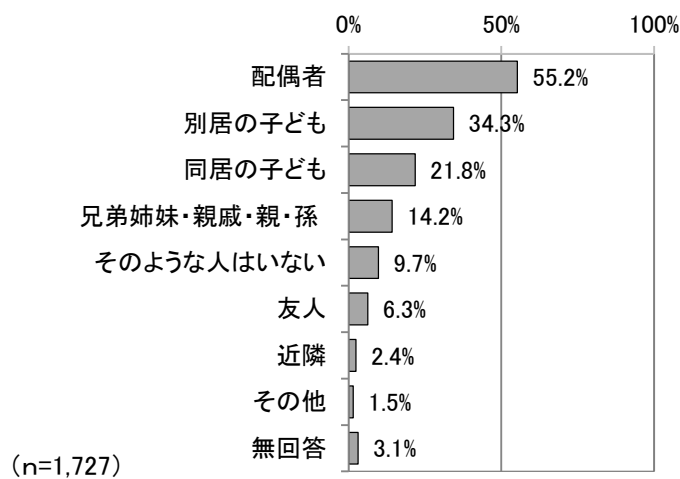
(6)身近な人による支え合いが機能している一方で、相談窓口や支援機関とのつながりがある人は限定的となっています。

・心配事の相談相手や、看病・世話の担い手は、配偶者や子ども、友人など身近な人が中心となっており、身近なコミュニティによる支え合いがあることがわかります。

■心配事や愚痴を聞いてくれる人

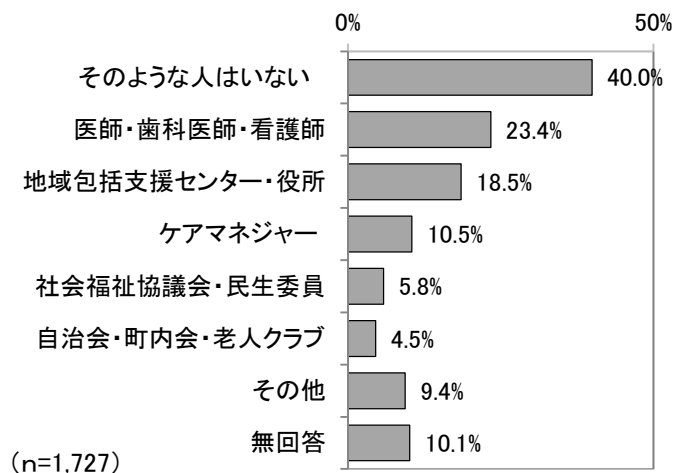


■看病や世話をしてくれる人



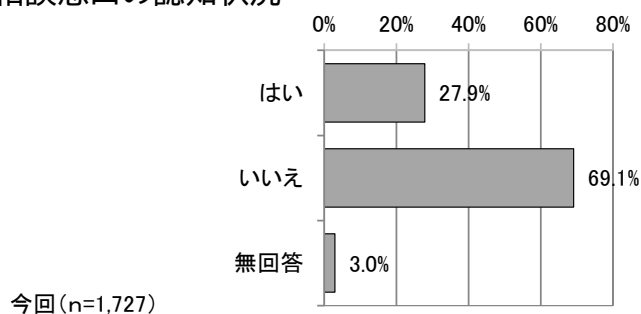
・家族や友人以外に相談できる相手が「いない」と回答した人は40.0%に上っています。

### ■相談相手(家族や友人・知人以外)



・認知症に関する相談窓口を「知っている」と回答した人は27.9%にとどまっています。

### ■認知症に関する相談窓口の認知状況



## (7)まとめ

- ・本調査結果からは、加齢や運動機能の制約により外出頻度が減少している人や、将来的に要介護状態につながるリスクを抱えている人も一定数いることがわかります。
- ・また、複数の生活課題に該当する人ほど、介護リスクや健康状態の悪化がみられることから、運動機能、口腔機能、認知機能の課題は相互に関連して現れていることがうかがえます。
- ・社会参加については、参加意欲のある人が一定数存在すること、社会参加を通じたフレイル予防を促進する観点から、参加のきっかけづくりや心理的ハードルの低減を図ることが重要であるといえます。

## 2 調査結果:在宅介護実態調査

(1)要介護状態にあっても在宅生活を継続する人が多くなっている一方で、介護度や生活状況に応じて、施設等への入所・入居を検討している人も一定数います。

- ・施設等への入所・入居を「検討していない」と回答した人は64.4%となっています。
- ・一方で、要介護1～3の人では、「入所・入居を検討している」と回答した人が「検討していない」に次いで多く、介護度が高くなるにつれてその割合が高くなっています。
- ・また、要介護4、5の人では、「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した人が「検討していない」に次いで多くなっています。

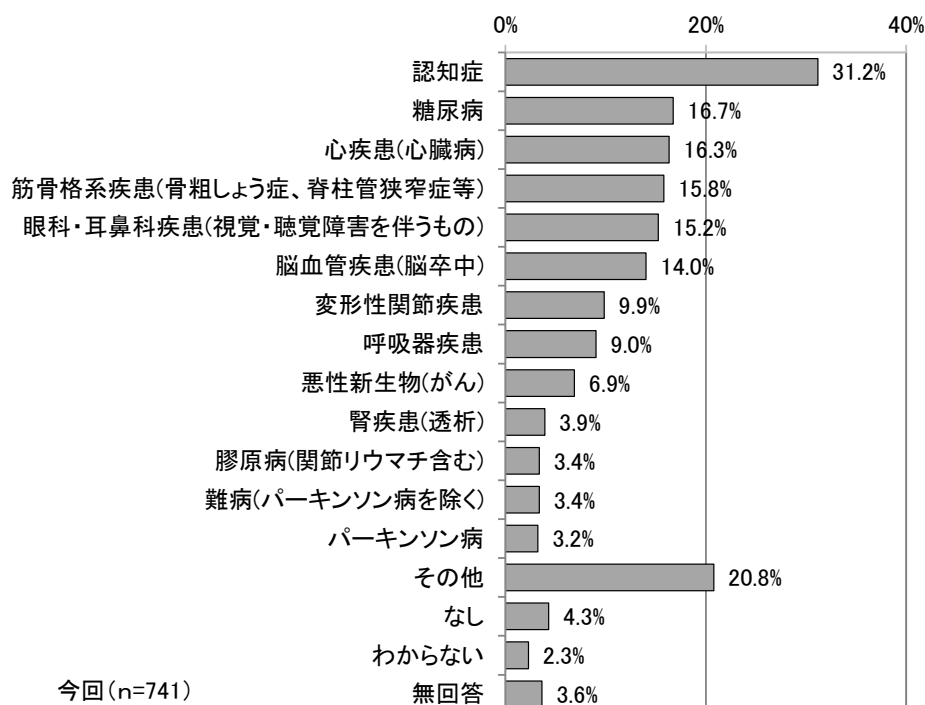
### ■施設等への入所・入居の検討状況／介護度別

		回答者数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全体	人数	741	477	116	119	29
	構成比		64.4%	15.7%	16.1%	3.9%
要介護1	人数	215	166	23	15	11
	構成比		77.2%	10.7%	7.0%	5.1%
要介護2	人数	216	150	36	22	8
	構成比		69.4%	16.7%	10.2%	3.7%
要介護3	人数	135	65	33	30	7
	構成比		48.1%	24.4%	22.2%	5.2%
要介護4	人数	100	55	13	29	3
	構成比		55.0%	13.0%	29.0%	3.0%
要介護5	人数	56	29	7	20	0
	構成比		51.8%	12.5%	35.7%	0.0%
無回答	人数	19	12	4	3	0
	構成比		63.2%	21.1%	15.8%	0.0%

(2)認知症を抱える要介護者が多く、家族の介護負担につながっている可能性があります。

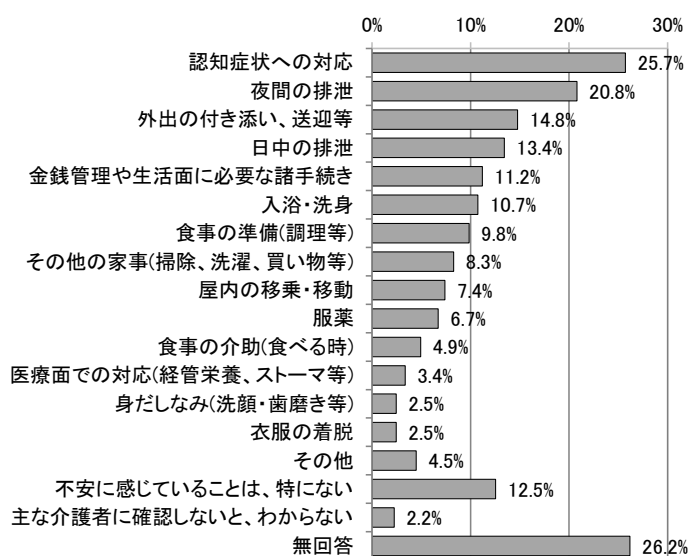
・現在抱えている傷病として「認知症」が31.2%と最も高くなっています。

### ■現在抱えている傷病



・また、主な介護者が不安に感じる介護内容としても、「認知症状への対応」と回答した人の割合が25.7%と最も高くなっています。

### ■不安に感じている介護等

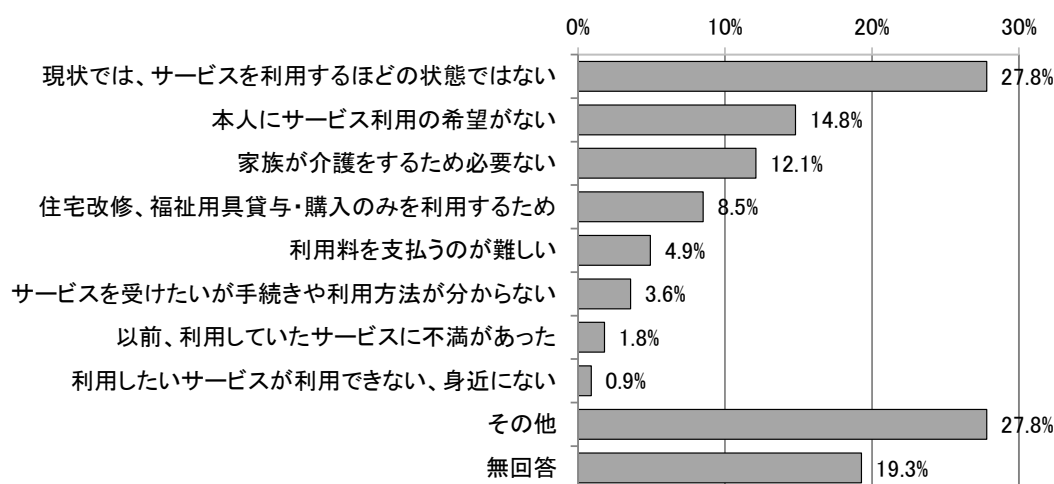


(n=447)

(3) サービスを利用していない背景には、本人・家族の認識に加え、経済的な理由や、制度利用に必要な情報につながりにくいことが影響している可能性があります。

- ・介護保険サービスを「利用した」と回答した人は63.4%である一方、「利用していない」と回答した人は30.1%となっています。
- ・多くのサービスで「利用していない(0回)」を回答した人が最も高い割合となっています。
- ・サービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が27.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が14.8%と高くなっており、本人や家族のサービス利用に対する認識や判断が影響している可能性があります。
- ・また、「家族が介護をするため必要ない」との回答も12.1%となっており、サービス利用と同等の支援を家族の介護で補っている人も一定数いることがうかがえます。
- ・このほか、「利用料を払うのが難しい」(4.9%)、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」(3.6%)等の回答もみられ、経済的な理由や、制度を利用するための必要な情報にアクセスしづらいことが、サービス利用を妨げている可能性があります。

■ サービスを利用していない理由

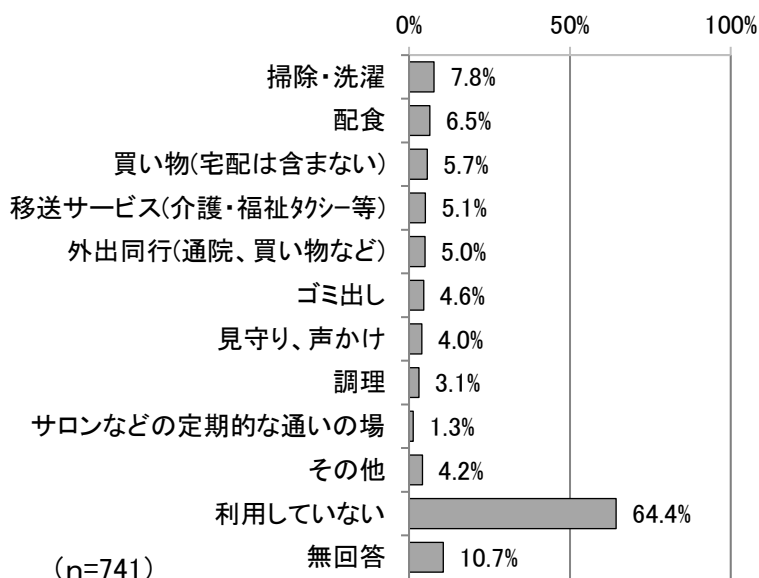


(n=223)

(4)介護保険外サービスや生活支援の利用は少なく、今後の支援ニーズが潜在しています。

- ・介護保険サービス以外の支援について、「利用していない」が64.4%と高くなっています。

■介護保険以外の支援・サービスの利用状況



- ・一方、今後必要と感じる支援としては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が21.3%となっています。

■今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス／介護度別

		回答者数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	人数	741	95	59	89	82	57	145	158	90	55	46	264	117
	構成比		12.8%	8.0%	12.0%	11.1%	7.7%	19.6%	21.3%	12.1%	7.4%	6.2%	35.6%	15.8%
要介護1	人数	215	31	19	25	31	19	45	37	32	19	11	86	19
	構成比		14.4%	8.8%	11.6%	14.4%	8.8%	20.9%	17.2%	14.9%	8.8%	5.1%	40.0%	8.8%
要介護2	人数	216	20	13	28	21	20	48	46	22	15	8	89	32
	構成比		9.3%	6.0%	13.0%	9.7%	9.3%	22.2%	21.3%	10.2%	6.9%	3.7%	41.2%	14.8%
要介護3	人数	135	19	11	15	15	6	23	33	14	11	17	36	29
	構成比		14.1%	8.1%	11.1%	11.1%	4.4%	17.0%	24.4%	10.4%	8.1%	12.6%	26.7%	21.5%
要介護4	人数	100	16	9	13	11	9	14	28	13	7	5	29	24
	構成比		16.0%	9.0%	13.0%	11.0%	9.0%	14.0%	28.0%	13.0%	7.0%	5.0%	29.0%	24.0%
要介護5	人数	56	7	5	6	3	1	8	10	8	0	5	18	11
	構成比		12.5%	8.9%	10.7%	5.4%	1.8%	14.3%	17.9%	14.3%	0.0%	8.9%	32.1%	19.6%
無回答	人数	19	2	2	2	1	2	7	4	1	3	0	6	2
	構成比		10.5%	10.5%	10.5%	5.3%	10.5%	36.8%	21.1%	5.3%	15.8%	0.0%	31.6%	10.5%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

・家族の介護頻度が高い人ほど、外出同行や移送支援へのニーズが高くなっており、在宅生活を支える生活支援の重要性が高いと考えられます。

■今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス／週当たり家族が介護する頻度別

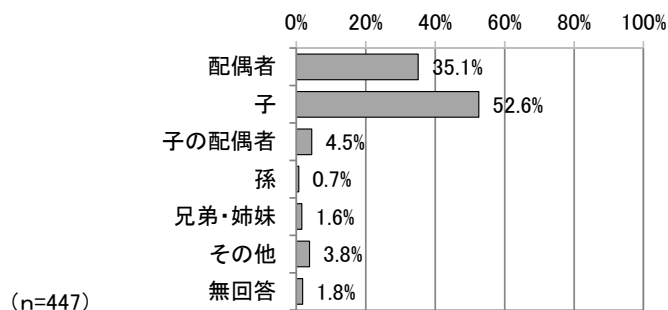
		回答者数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	人数	741	95	59	89	82	57	145	158	90	55	46	264	117
	構成比		12.8%	8.0%	12.0%	11.1%	7.7%	19.6%	21.3%	12.1%	7.4%	6.2%	35.6%	15.8%
ない	人数	233	17	18	24	19	15	35	44	17	9	14	96	38
	構成比		7.3%	7.7%	10.3%	8.2%	6.4%	15.0%	18.9%	7.3%	3.9%	6.0%	41.2%	16.3%
家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	人数	54	11	9	8	9	7	21	15	11	6	4	17	1
	構成比		20.4%	16.7%	14.8%	16.7%	13.0%	38.9%	27.8%	20.4%	11.1%	7.4%	31.5%	1.9%
週に1～2日ある	人数	56	10	6	14	11	9	12	14	11	4	1	16	9
	構成比		17.9%	10.7%	25.0%	19.6%	16.1%	21.4%	25.0%	19.6%	7.1%	1.8%	28.6%	16.1%
週に3～4日ある	人数	46	13	6	7	5	4	10	14	8	5	1	12	5
	構成比		28.3%	13.0%	15.2%	10.9%	8.7%	21.7%	30.4%	17.4%	10.9%	2.2%	26.1%	10.9%
ほぼ毎日ある	人数	291	42	19	33	35	18	64	67	43	29	26	113	22
	構成比		14.4%	6.5%	11.3%	12.0%	6.2%	22.0%	23.0%	14.8%	10.0%	8.9%	38.8%	7.6%
無回答	人数	61	2	1	3	3	4	3	4	0	2	0	10	42
	構成比		3.3%	1.6%	4.9%	4.9%	6.6%	4.9%	6.6%	0.0%	3.3%	0.0%	16.4%	68.9%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

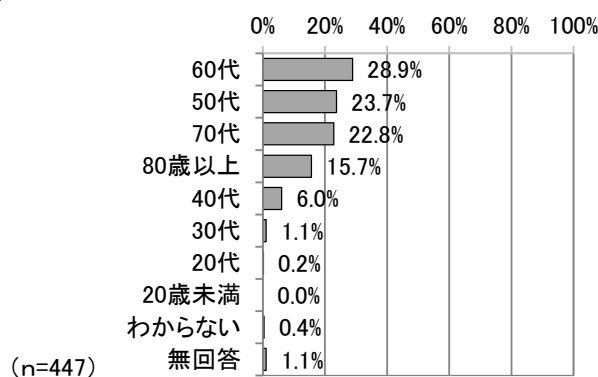
(5)在宅介護は家族に大きく支えられており、介護者の負担や就労との両立が課題となっています。

- ・主な介護者は「子」が52.6%、「配偶者」が35.1%となっています。
- ・介護者の年齢は50～60代が中心であり、就労世代による介護が多い状況です。

### ■主な介護者

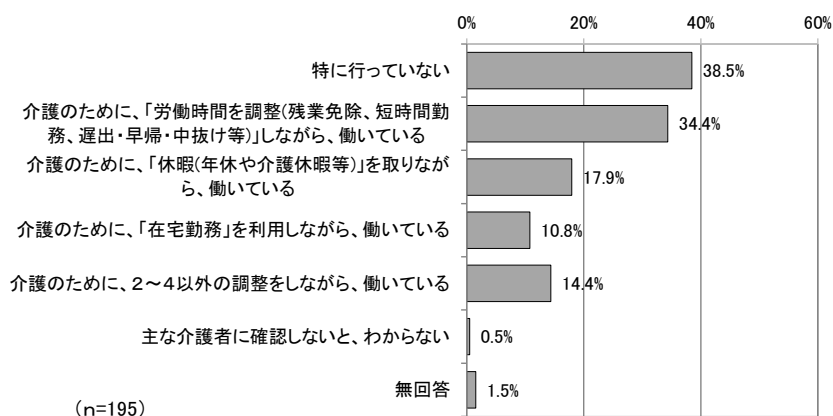


### ■主な介護者の年齢



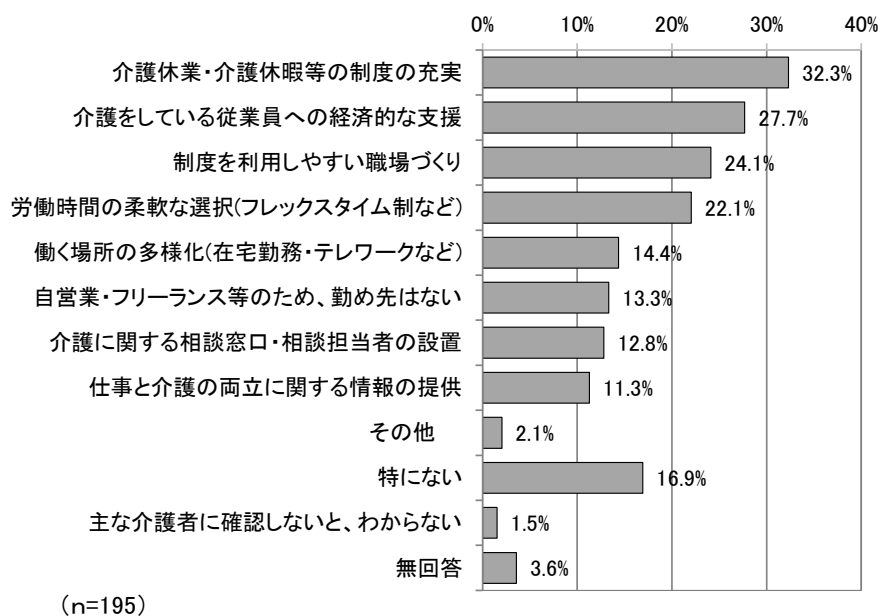
・フルタイム・パートタイムで働く介護者の働き方の調整等について、「特に行っていない」が38.5%と最も高くなっているものの、次いで「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が34.4%となっています。

### ■主な介護者の働き方について、調整の有無等



・勤務先に求める支援として、「介護休業・休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」などが挙げられており、仕事と介護を両立するための支援が課題であると考えられます。

## ■仕事と介護の両立に効果的な支援(勤務先に求める支援)



## (7)まとめ

- ・本調査結果からは、在宅生活を継続する人が多くなっている一方で、介護度や生活状況に応じて、施設等への入所・入居を検討している人も一定数いることがわかります。
- ・また、認知症状への対応における介護者の不安感が高い状況にある一方で、介護保険サービスの利用状況には偏りがみられます。介護負担が家族に集中しやすい状況となっていることが、在宅介護を継続する上での課題となっていると考えられます。
- ・今後は、介護保険サービスや生活支援等を必要とする人に適切につなぐとともに、在宅介護を継続するための介護者への支援を検討していくことが必要であると考えられます。